
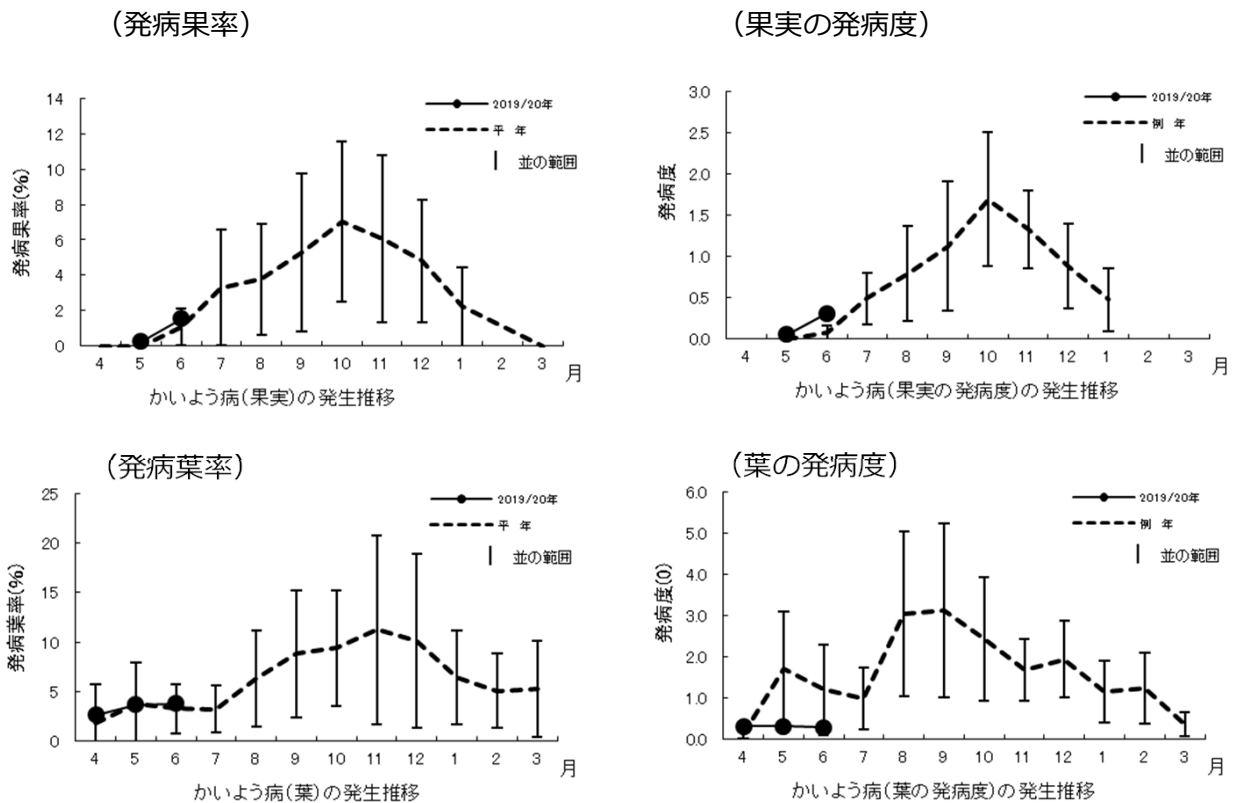


作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
予報	7 月の発生量 (平年比)	並~やや多	
	6 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	6 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↗) 6 月の降水量が平年より多い	

調査結果




- ・ 病害虫防除員報告：多発生（本島北部）

防除のポイント

- ・ 罹病枝などの病斑が伝染源となり、台風による葉や枝の傷口（風傷）は感染を助長することから、台風前後ともに薬剤防除を行う。
- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から発生しやすく、翌年の伝染源になるので、ミカンハモグリガ被害葉の除去に努める。

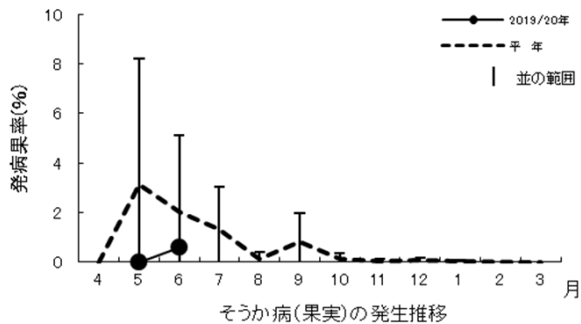
被害葉→



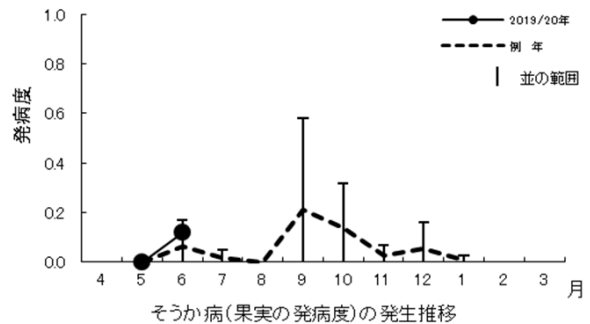
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	② そうか病		
予報	7 月の発生量 (平年比)	並	
	6 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	6 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↓) 6 月の降水量が平年より多い	

調査結果

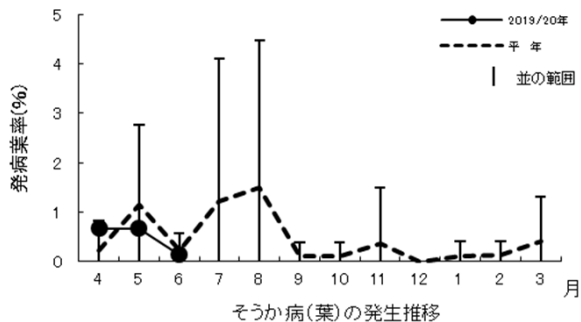
(発病果率)



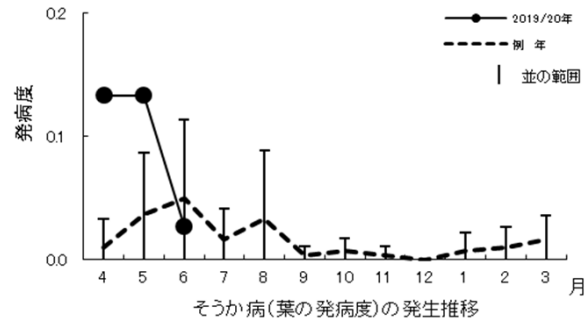
(果実の発病度)



(発病葉率)



(葉の発病度)




防除のポイント

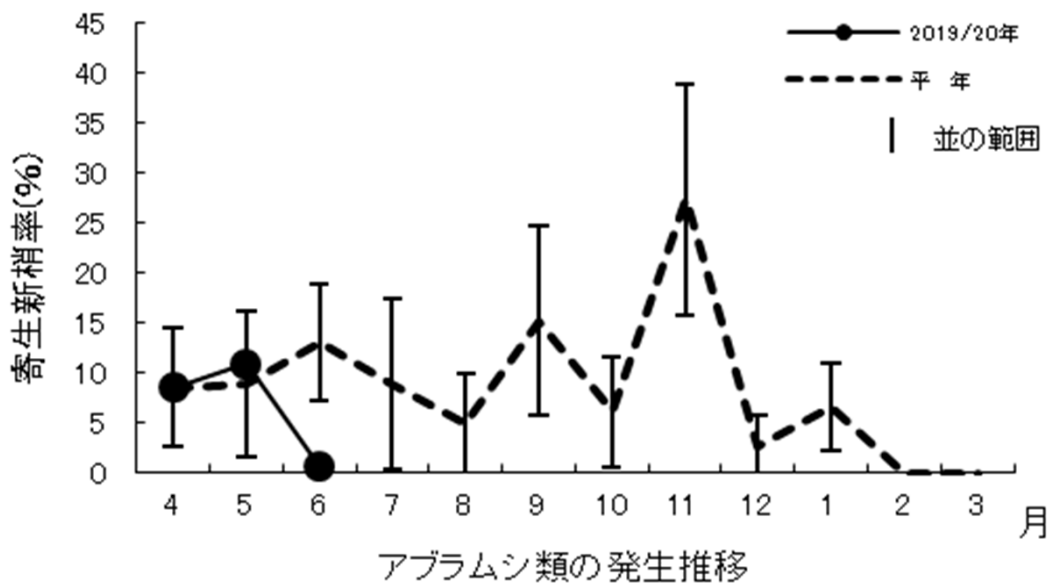
- 罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

被害葉→



作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ アブラムシ類		
予報	7 月の発生量 (平年比)	並	
	6 月からの増減傾向	↓	
予報の根拠	6 月の発生量 (平年比)	やや少	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↓)	


調査結果



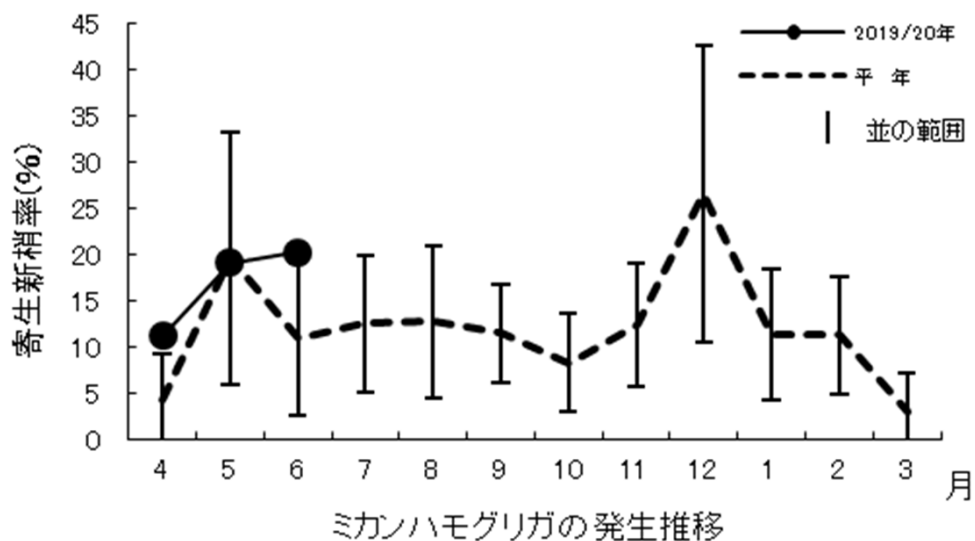
防除のポイント

- ・テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。




作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	④ ミカンハモグリガ		
予報	7 月の発生量 (平年比)	並~やや多	
	6 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	6 月の発生量 (平年比)	やや多	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

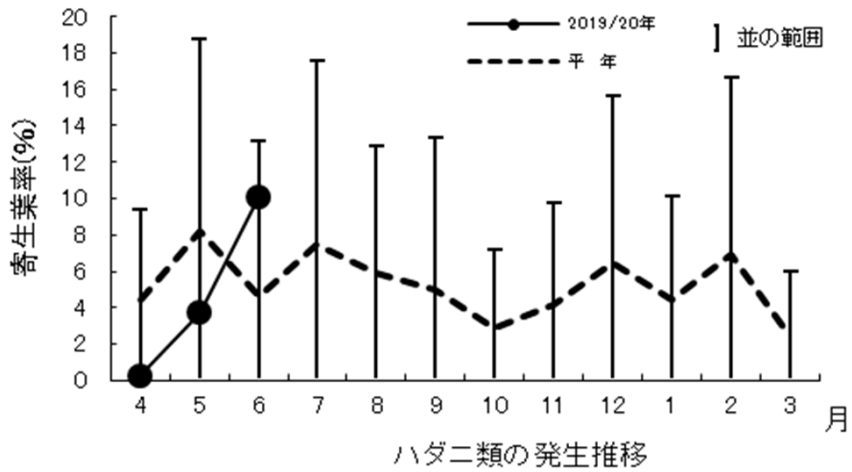


防除のポイント

- ・被害葉にかいよう病が発生しやすく、伝染源になるので除去に努める。
- ・被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	⑤ ハダニ類		
予報	7 月の発生量（平年比）	並	
	6 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	6 月の発生量（平年比）	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↗）	

調査結果



- ・ 病害虫防除員報告：中発生（本島北部）

防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状